

事業番号	330
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	補助教材整備事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	学校教育課								
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	学校教育係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 学校教育		1 教育を支える学習環境を整備する									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	1		目	3		大	2		中	2	
	根拠法令・個別計画	学校教育法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	授業に必要となる教科書、指導書および副読本を配布・活用し、良好な学習指導を行う。														
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <p>○授業で使用する教科書、指導書を購入し、教員へ給付した。</p> <p>○授業で使用する副読本を購入し、教員、児童・生徒へ給付した。</p> <p>○中学校社会科副読本「小牧」を編集・印刷し、教員、児童・生徒へ給付した。 (編集及び原稿作成業務は、小牧市小中学校社会科副読本編集委員会へ委託した。委託料: 600千円)</p> <p>【教科書・指導書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校: 国語、書写、社会、地図、算数、、理科、、生活、音楽、図画工作、家庭、保健</li> <li>・中学校: 国語、書写、社会(地理、歴史、公民)、地図、数学、、理科、、音楽(一般、器楽)、美術、保健体育、技術、家庭、英語</li> </ul> <p>【副読本等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校: 明るい心、観察と実験、健康手帳、わたしたちの安全、家庭科ノート、たのしい体育、かがやく大愛知、こまき、白地図、夏休みの日誌、冬休みの日誌</li> <li>・中学校: 中学体育実技、中学私たちの安全、生活と進路、明るい人生、実験と観察、健康手帳、はばたく中学生、小牧、白地図、夏休みの日誌、冬休みの日誌</li> </ul> <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <p>教科書・指導書等購入費 (5,835千円)</p> <p>副読本等購入費 (24,427千円)</p> <p>中学校社会科副読本小牧印刷製本費 (2,467千円)</p> <p>社会科副読本指導資料編集委託 (600千円)</p> <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <p>教科書・指導書等購入費 (7,100千円)</p> <p>副読本等購入費 (25,400千円)</p> <p>小学校社会科副読本こまき印刷製本費 (3,800千円)</p> <p>社会科副読本指導資料編集委託 (585千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	70,918	57,488	33,329	36,885	
		正職員	従事者数	人	0.25	0.25	0.25	0.25
			人件費	千円	1,332	1,332	1,332	1,332
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	72,250	58,820	34,661	38,217	
対前年比		%		81.4	58.9	110.2		
財源	一般財源	千円	72,250	58,820	34,661	38,217		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	副読本の種類	種	目標	—	—	—
実績				21	21	21	
業	児童生徒数	人	目標	—	—	—	—
			実績	13,604	13,605	13,429	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			配布した副読本の授業への活用率	%	100	100	100
業			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	必要最低限数を把握し、購入、給付をしており、適切に事務がすすめられている。副読本(補助教材)を利用することで、教科書の内容理解をより一層深めている。				
		事業実施における課題	クラス数の増加等による教科書・指導書必要数の見込みの把握が容易でない。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	教員が児童生徒に対する効果的な教育活動を行ううえで、教科書、指導書、副読本の配布は必要不可欠であり、事業の廃止・休止は考えられない。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	これまでの実績等を確認しながら、慎重に必要見込数を把握する。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	教科書、指導書、副読本の配布なくして、教員が効果的な教育活動を行うことは不可能である。良好な学習指導を行うために、本事業は必要不可欠であり、一定の教育水準を確保するため、これまでどおり実施する。					
	26年度以降の改善案	平成27年度の小学校教科書採択に向けて、これまでの実績等を確認しながら、慎重に必要見込数を把握する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。